

日豪イノベーション・アライアンスに向けて

2022年10月6日(木)



Part of the New South Wales Government

最先端の橋渡し研究(トランスレーショナルリサーチ)を商業化した際のインパクトを最大化するため、日豪両国がいかに協力し合えるのかについてのディスカッションにぜひご参加ください。

「日豪イノベーション・アライアンス」の初回フォーラムは、10月6日(木)、東京のGoogle 渋谷ストリームにて開催されます。

日本とオーストラリアは、信頼、共通の価値観、経済的な補完性をもとに築かれた、大規模で持続的な関係を有しています。また、両国は科学的・技術的な分野においても互いを補い合っています。しかしながら、両国は未だに、イノベーション・エコシステムにおける重要なパートナーシップを構築できていません。本フォーラムでは、新たな経済的課題を解決するにあたってイノベーションとテクノロジーの重要性がますます高まる中、このような状況をいかにして変革できるのかについて問われます。

本フォーラムでは、日豪のイノベーション、テクノロジー、トランスレーショナルリサーチにおける有力者を集め、長年の経済パートナーである両国がこの新しい分野において、いかにしてアライアンスを築くことができるのか、議論して参ります。

参加者には、コラボレーションを重視し、イノベーションとトランスレーショナルリサーチにおいて革命をもたらそうと励んでいる、日豪トップクラスのスタートアップ、ベンチャーキャピタル、大企業、各業界の主要機関、大学、政府の実力者を予定しております。

| | |
|-----|--|
| 日付： | 2022年10月6日(木) |
| 時間： | 9:00am – 5:00pm |
| 会場： | Google 渋谷 ストリーム (東京) 本イベントは対面式となります |
| 言語： | 日本語・英語の同時通訳用のヘッドセットを付与 |

このイベントはオンラインストリーミングされません、ご注意ください。

本イベントは、[第59回日豪経済合同委員会会議](#)の一部として開催されます。

プログラム

09:00 **開場 | Level 5**

09:30 **ごあいさつ + 基調講演**

リチャード・アンドリュース 氏 | CEO, AJBCC
ピーター・ロバーツ OAM 氏 | Chargé d'Affaires, Australian Embassy, Tokyo
鈴木英敬 氏 | Parliamentary Vice-Minister of Cabinet, Government of Japan
ティム・ロメロ 氏 | Head of Google for Startups Japan, Google
ヴィヴェック・マハジャン 氏 | Global Chief Technology Officer, Fujitsu

10:20 **パネル・ディスカッション 日本 - オーストラリア・イノベーション・エコシステム**

モデレーター ヴェロニカ・テイラー 教授 | Australian National University

パネリスト

アンドリュー・パーフィット 教授 | President and Vice-Chancellor, University of Technology Sydney
カルム・ドラモンド AO 教授 | Vice President and Deputy Vice-Chancellor, Research and Innovation, RMIT University
マーニー・ヒューズ・ウォリントン 教授 AO | Deputy Vice-Chancellor Research and Enterprise, University of SA
高鍋 和弘 教授 | Graduate School of Engineering, University of Tokyo
唐木 明子 氏 | Partner, strategy&, PwC Japan

11:50 **ネットワーキング・ランチ**

12:40 **講演 + パネル・ディスカッション コラボレーションの実践**

モデレーター メラニー・ブロック AM 氏 | CEO, Melanie Brock Advisory

パネリスト

アレクサンドラ・クルーニーズ - ロス 氏 | Portfolio Manager, Artesian
クレイグ・プリースト 助教授 | Associate Professor, ARC IDEAL Hub, University of South Australia
宇田川 貴好 氏 | CEO, IDOM Innovations
吉村 英明 氏 | APAC Director, Hivery
弓部 慶樹 氏 | General Manager of Research and Development Centre, Hitachi Australia

14:00 **まとめ 結論と次のステップ**

ジェニー・コーベット 教授 | Emeritus Professor, Crawford School of Public Policy, Australian National University
グレン・ホワイトウィック 教授 | Vice President and DVC Enterprise, University of Technology Sydney
長谷 昭文 氏 | General Manager, Global Business, NTT Australia

14:30 **次のセッションへ移動**

14:45 **ビジネス・マッチング・セッション | 機会の創出**



テーブル

- Innovation Dojo
- Artesian
- University of Technology Sydney
- University of South Australia
- University of New South Wales
- RMIT University
- IDOM Innovation
- Hivery
- Future Battery Industries Cooperative Research Centre

17:00 **閉場**

参加希望の方は、こちらよりご登録お願い申し上げます。

スピーカー



鈴木英敬 氏

鈴木英敬氏は、内閣府大臣政務官、前三重県知事（3期連続勤務）。東京大学経済学部卒業後、1998年に通商産業省（現経済産業省）に入省。内閣府の少子化危機突破タスクフォース、中央防災会議の委員などを経て、厚生労働委員会、消費者問題に関する特別委員会の委員を務める、現在は、衆議院の内閣委員会。また、自民党デジタル社会推進本部の事務局長なども歴任。



ティム・ロメロ 氏

Google for Startups Japan の代表、Disrupting Japan ポッドキャストのホスト。投資家、創業者、著者、教育者として日本のスタートアップ・コミュニティに深く関わり、過去25年間、日本でいくつかのスタートアップを創業。また、ニューヨーク大学東京キャンパスにて起業家精神とコーポレート・イノベーションについて講じ、スタートアップ・エンゲージメントやイノベーション戦略について、TEPCOをはじめとする日本企業と協働。



ヴィヴェック・マハジャン 氏

国際的なビジネス・リーダーおよびイノベーション/テクノロジー分野の専門家。Tandem Computers, General Electric、Siebel Systems、Oracle、IBM など国際的に名高い企業にて豊富な経験を持つ。2021年7月に富士通に入社し、Global Chief Technology Officer に就任。富士通を革新的で技術的なリーダーシップのある、世界有数のテクノロジー企業へと確立することを志向。米国、オーストラリア、シンガポール、日本、インドなど、国際的な環境における生活・職務経験があり、英語、日本語、ヒンディー語に堪能。



ヴェロニカ・テイラー 教授

オーストラリア国立大学 School of Regulation and Global Governance (RegNet)における法規制学の教授。オーストラリア財務省の規制改革部門の専門委員、ANU の非執行取締役に加え、AJBCC の理事、豪日交流基金 (FAJS) の理事を兼任。



アンドリュー・パーフィット 教授

シドニー工科大学 (UTS) の Vice-Chancellor および President。2017年に、同大学の Provost 兼 Senior Vice-President に就任。以前は、オーストラリアのニューカッスル大学にて Deputy Vice-Chancellor（学術担当）、南オーストラリア大学や CSIRO にて最高幹部などを務める。通信工学の研究者としてアンテナや無線システムを専門とし、衛星通信、電波天文技術、宇宙工学の分野において多大な功績をあげてきた。



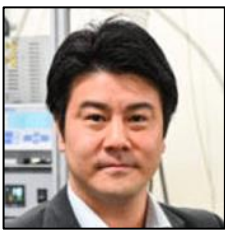
カルム・ドラモンド AO 教授

メルボルンの RMIT 大学の Deputy Vice-Chancellor（研究・イノベーション担当）および Vice President。発見と実践に基づいた研究を発展させ、リサーチ/イノベーションにおける能力の構築・強化を大学内にて主導。特に、次世代の研究者やイノベーターの育成に力を注ぐ。また、研究成果の商業化にも強い関心と情熱を抱く。



マーニー・ヒューズ・ウォリントン AO 教授

南オーストラリア大学の Deputy Vice-Chancellor（研究・企業担当）およびオーストラリア国立大学の歴史学における Honorary Professor。探索研究、トランスレーショナルリサーチ、パートナーシップ、研究推進、インパクトと商業化を戦略的に主導。以前は、オーストラリア国立大学の Deputy Vice-Chancellor（学術担当）として、教育、教育推進の Strategic Lead を務めた。



高鍋 和弘 氏

東京大学 工学部 化学システム工学科の教授。アブドラ国王科学技術大学（KAUST）を経て、東京大学工学部化学システム工学科の堂免一成教授の研究室にて、助教授を務めた。東京大学では、グリーン水素の研究に従事し、学部内の Catalysis for Energy Conversion Research Group の主任研究員を務める。



唐木 明子

PwC コンサルティング、Strategy&のパートナー。国内外のリテール、消費財、金融サービス業、ヘルスケア、その他分野のクライアントと、新規事業や商品・マーケティング戦略に伴う成長戦略などのテーマについて、多様なコンサルティングプロジェクトを手がける。また、日本企業の成長戦略実現に必要なダイバーシティの推進にも取り組んでいる。2021 年まで 4 年弱ロンドンオフィスへ出向し東京オフィスに復帰。PwC ジャパンの Oversight Board メンバー（2021 - ）



メラニー・ブロック AM 氏

日本で最も尊敬される APAC のスペシャリストの一人。実践的なビジネス・リーダーシップと語学力を兼ね備え、日本企業および海外企業にて、ビジネス、規制、パートナーシップに関する多大な成果を、国内・国際レベルであげる。日本の政治家や企業役員など、日本企業・政府機関において優れたネットワークを持つ。



アレクサンドラ・クルーニーズ - ロス氏

Artesian のポートフォリオ・マネージャー。Artesian の気候テック分野における VC 投資活動を主導し、Clean Energy Seed Fund を通じて 60 社以上の気候テック分野のアーリーステージ・スタートアップに投資。また、女性の創業者や経営者を持つスタートアップに投資する \$100M Female Leaders Fund のポートフォリオ・マネージャーも担当。シドニー大学で商学士号、ニューサウスウェールズ大学でビジネス法修士号を取得。



クレイグ・プリースト 助教授

Future Industries Institute (南オーストラリア大学) の Professorial Lead、ARC IDEAL Research Hub の Deputy Director、ANFF-SA (南オーストラリア大学とフリンダース大学にある先進製造業への投資機関) の Director。新しいセンサーやアプリケーションの製造に必要なマイクロ/ナノデバイスおよびその他小型デバイスにまつわる界面科学、物理科学、分析科学に取り組む研究者・技術者のチームを監督。



宇田川貴好 氏

IDOM InnovationsのCEO。新卒で日本最大の中古車販売店ガリバーに入社し、2016年に執行役員に昇格。2015年IDOM Australiaに取締役として赴任し、オーストラリア事業の開発、ディーラー事業の業務改善、戦略、成長などに従事。2018年、IDOM Automotive GroupのCEOおよびIDOMのオーストラリア事業の責任者として、事業改革と海外戦略を推進。IDOM Innovationsは、2022年にグローバル本社をメルボルンに開設し、ここを戦略拠点としながら、新たなオートモーティブ・テックを開発。



吉村 英明 氏

オーストラリアで生まれ、シドニーを拠点とする HIVERY の APAC 地域 (日本を含む) における営業・顧客サービス部門を統括。日本では、コンサルや投資銀行の業務に 15 年間従事し、日本と国際市場の架け橋となるべく活動。HIVERY の日本市場参入をサポートし、HIVERY Japan 株式会社の設立に貢献。地域特有のニーズの融合から生まれるイノベーションの活用に情熱を注ぐ。



弓部 良樹 博士

日立オーストラリア 研究開発グループゼネラル・マネージャー。以前は日立製作所 研究開発グループ 東京社会イノベーション協創センターに所属。主任研究員としてエネルギーやスマートシティ分野において、顧客やパートナーとの協創による新事業開発に従事。現在は、オーストラリアにおいて、政府、企業、大学との協創を通じたグリーン×デジタル分野での新規事業機会の探索、事業機会のインキュベーション活動に従事。



ジェニー・コーベット教授

オーストラリア国立大学の経済学特別教授、豪日研究センター所長、日本研究所所長、研究・研究訓練担当の副学長、オックスフォード大学の Nissan Institute of Japanese Studies のフェローなど、経営幹部や教育者としての役職を歴任。最近まで、豪日交流基金 (FAJS) の下で設立された東京拠点のリオ・ティント・フェローを務めた。2014 年、日豪関係への貢献が認められ、「旭日中綬章」を授与される。日本経済の教授・研究者として活躍。アジア開発銀行、OECD、世界銀行、欧州委員会などに向けて、日本に関するマクロ経済や金融に関する様々なコンサルティングを行う。



グレン・ワイトウィック教授

シドニー工科大学 (UTS) の企業担当の副学長として、大学の起業家精神、企業学習、産業界とのエンゲージメント、地区戦略などを担当。それ以前は、研究担当の副学長。オーストラリア、米国、中国の IBM に 27 年間勤務し、システムエンジニアリング、開発・研究において様々な技術的、指導的役割を担った。



永谷 明史 氏

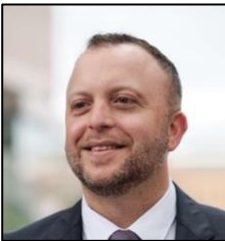
NTT オーストラリアの国際事業ゼネラル・マネージャー。NTT オーストラリアは、世界最大の電気通信事業者の1つである日本電信電話株式会社（NTT）の海外事業会社として、オセアニア地域におけるシステムインテグレーション・ネットワークマネジメント・スマートデジタルソリューション等を提供。米国シカゴ大学にて経営学修士を取得。



ミカエラ・ブラウン 氏

アジア太平洋地域の Google 公共政策・政府渉外担当のバイス・プレジデントを務める。これまで、オーストラリア政府で外交官として、豪中関係全国財団の初代 CEO、在香港・マカオのオーストラリア総領事、シンガポールとタイの外交使節団を含め、さまざまな上級職を歴任。現在は、APEC ビジネス諮問委員会に在籍し、AJBCC 及びアジア協会の理事（オーストラリア支部）、及びアジア開発銀行の諮問委員会のメンバーも務める。

ジョシュア・フラネリー 氏



Innovation Dojo の共同創業者・CEO である彼は、関西と日本に 20 年来の縁がある。神戸、関西、そして日本がスタートアップ誕生とグローバルな成長に資する世界レベルのエコシステムへと発展するための支援に情熱を注ぐ。現在は、オーストラリア・ビクトリア州政府の委託を受け、デジタルテックの投資スペシャリストとして、オーストラリアと日本のスタートアップ・エコシステムの橋渡し役を担う。また、有力大学（神戸大学、大阪大学、京都大学など）における学生起業家への指導・支援、大学のスタートアップ・エコシステムにおけるダイバーシティとインクルージョンを考慮したベストプラクティスに関する研修やアドバイスを行う。

